

礼拝メッセージ（7月22日）

『素直さと聡さ』～アンバランスからバランスへ～ 【マタイ 10:16, ローマ 16:17～】

『蛇のようにさとく、鳩のようにすなおでありなさい。』（マタイ 10:16）「素直さと聡さ」この両方を持ち合わせるのは無理なような気がしますが、聖書はこのどちらかではなくどちらも持ちなさい。と言っています。そしてこの2つをバランス良く備える事が大切な事なのです。物事には、長所と短所があります。「素直さ」の長所は「信じる心がある」という所です。これは神様が唯一、人間だけに与えた素晴らしい心です。短所は「知らない」（＝無知）だという所です。無知なゆえに、何でも信じてしまうという問題があります。「聡さ」についてはどうでしょうか？聡くある為には決断が伴います。長所としては「決断ができる」ところ、そして短所は「とらわれる」「余計な事まで考えが及んでしまう」という所でしょうか。このような長所と短所、どちらを用いるかは、あなたにかかっているのです。このバランスがあなたの立場や肩書きによって右往左往してはならないのです。神様が「よし」として創られた私たちの本質を変えてはいけません。聖書の「ダニエル記」には次のような記述があります。ダニエルとその友人の3人はとても素直で捕囚の地にあっても王様に愛され、それなりの地位を与えられていました。そしてこの国の王は偶像礼拝の罪を犯しており、ダニエル達も偶像礼拝をするように法律で決められたのですが3人は神に対しての素直さと聡さを持ち合わせていたので、命令には従わず一切それらの食べ物や物を口にすることはありませんでした。その結果、ダニエル達は死刑になり7倍熱い火の中に投げ入れられたのです。しかし、この3人は燃えることなく無傷で生きていました。ダニエル達はどんなに王に愛され地位を得ようともその立場によって神に対する素直さと聡さを変えようとはしませんでした。神様はその姿を喜ばれたのです。神様は知恵を非常に重んじます。逆に知識は捨てなさいと言います。「知識」とは過去のもので、私たちの経験にすぎません。人を傲慢にし、一つの考えに固着してしまう危険があります。「知恵」は未来のもので、これから起ころうとする事を対処する為に必要なものです。知識を捨てなければ私たちに変化は起こりません。聖書に登場する知恵のある人物は皆、神様に「知恵」を求めました。そして求めたので得ることができました。私たちも同じです。いらぬ知識を捨て、神様の「知恵」を得る為に**①心の疑いをとる**。正しく鳩のように素直になる事です。何に対しても疑いの心を持っていると大切な知恵が与えられても受け取る事ができません。**②素直に「知恵」を求める**。「知恵」を熱心に求めて下さい。求め続けて下さい。そうすれば必ず与えられます。聖書の中でも知恵を求めて与えられなかった人は一人もいません。ですから、あなたも必ず与えられます。**③心を探る**。知恵を求めたら、次はあなたの心を探して下さい。求めた人は既に知恵を与えられています。しかし、あなたの知識が邪魔をして知恵が与えられている事に気づいていない場合があります。ですから、いらぬ知識を捨てて下さい。そしてあなたの中の「知恵の実」を見つけて下さい。心を探ると、あなたの考えたいつもの方法ではなく、神様から与えられた新しい思いが必ずあります。そして最後に「ローマ 16:17～」あなたの周りにはあなたを落とし入れるなめらかな言葉がたくさんあります。語られる悪魔からの言葉に十分注意して惑わされないように気をつけて下さい。この世の知識に頼って生きていくのか神の知恵を用いる人生を歩むのか。選択するのはあなたですよ。